

# 図書館通信

# —33—

1975.9

## 就任にあたって

中 沢 正 寿

文字どおり「はからずも」7月1日付で館長に就任しました。全学の皆さん、くれぐれもよろしくおねがいます。

昭和22年9月、教育学部の前身、第一師範学校教授として赴任、以来、静岡大学の発足、統合移転を経て現在へと、大学25年史もつくられている中で28年間生活してきました。この間、附属図書館も総合大学の中の研究・教育の一つの重要な機関として統合・創設され、さらに、東部地区への大学の統合による発展とともに一段の飛躍的發展をしてきました。この間、全学の多くの方々のなみなならぬ努力が、この発展の原動力となり、ささえとなってきました。この図書館通信が創刊されてからでも、天野、石塚、上野と3人の名館長を経て4代目の館長ということになります。しかも他方、大学全体としても25年を経たいま、将来構想委員会も発足して、その充実、拡充、発展を検討する時点に立っているようです。まず何よりもこの大きな流れに沿って運営をはかるように心がけたいと思います。総合大学としての発足、東部地区への統合移転による拡充、発展、その中における大学附属図書館、これに対する多くのかたがたのなみなならぬ努力と協力の積み重ねを学び、生かしていくことを土台にしたいと思います。

また、全学にかかわる機関として、附属図書館は他の部局に直接強いつながりをもっていると思います。とくに、各学部と並列した独立機関というよりは、各学部それぞれの重要な分節が集中、統合されているといったかわり合いではないでしょうか。各学部にとって図書館はわが図書館であり、図書館にとってそれぞれの学部はわが学部であるといった関係にあるといえましょう。この関係が形式的、公式的なものにとどまらないで、心理的実感をもって実質的に機能するように運営の努力をすべきと思います。全学のみなさん、図書館への理解と積極的協力をよろしくおねがいます。

### も く じ

- ・就任にあたって  
中 沢 正 寿…………… 1
- ・読書と大学附属図書館  
石田健二郎…………… 2
- ・私のすすめたい本・29  
学問の台所から  
中山 葉 子…………… 3
- ・図書館の相互協力  
—他の図書館の利用について—  
参考調査係…………… 4
- ・最近の受贈参考図書より  
…………… 5
- ・利用統計 —浜松分館—  
…………… 6
- ・教官著作寄贈図書  
—本館— …………… 6
- ・附属図書館委員会報告  
…………… 6
- ・おしらせ …………… 6

# 読書と大学附属図書館

石田健二郎

食事の種類、分量および時間は身体を養うのに大きな影響を与えることは周知の事実である。食事のとり方の僅かな差により一方では栄養を高め、他方では体を害するようになることはわれわれのしばしば経験することである。教養をたかめるのに重要な方法の一つであり、かつ学術研究に大きな役を果している読書についても同様のことがいえる。まず種類の選択には十分なる注意が必要である。この本はある人には適しても他の人には全く適しないものがある。食物の場合の嗜好に相当し、興味ということも重要視しなければならない。良い書物だからといって興味がわからない場合は読んでもその人の教養、学問への理解、独創力の育成に役立つか疑わしい。しかしなるべく偏食を避け、一般的のことに限り、何回も繰返しているうちに喜びを感じるに至ってはじめて読書の目的に達することができるであろう。次に、一度の読書の分量が重要である。学生生活における人間形成の時代には1日3時間読書、社会人には早朝または就寝前1時間くらいを読書に用いるのがよいのではあるまいか。1日に3頁ずつじっくりと楽しみにして読んだとすれば1ケ年に1000頁の読書は確実に教養に役立つであろう。ある専門については少しでも大学において習ったことのあるものを図書館にてさらに研究し、自学自習することにより本物にすることができる。

著者は学生時代から今日まで専門書以外の書物すなわち、論説、伝記、随筆、小説、語学雑誌などを愛読してきたが、いま過去をふりかえってみると学生時代のころ二読、三読した岩波書店刊行の田辺元著「科学概論」、奥村鶴吉著「野口英世」、矢内原忠雄著「余の尊敬する人物」、スタンダール著「赤と黒」、ベルナルダン・ド・サンピエール著「ポールとヴィルジニー」、新潮社刊行の小堀憲著「大数学者上・下」(改版昭和43年)などは私の人間形成に大きな影響を与え、かつ学問の道へ進むきっかけとなったと思う。したがって学生時代には専門書以外の自分で選んだ書物、たとえば伝記、小説、歴史、随筆、語学雑誌などから刺激を受けることが必要であり、上記のような教養に役立つ書物の読書時間をつくるよう是非とも心掛けねばならぬ。次に専門分野の書物につい

ては本大学附属図書館に内外の名著が最近では充実されてきているが、満足とはいえないところもあるように思う。著者は内外の名著や文献のコレクションを行なってきた経験から私の書物探訪を述べてみよう。まず各書店から出している書物・雑誌案内の目録や専門書・雑誌の末尾にある文献をみるのは勿論であるが、1年に2〜3回は東京の神田の書店街と白金町にある藤山図書館を訪れている。お茶の水の坂を下って軒をつらねる書店街に出ると昔と変わりなく今でも書店の数の多いのに驚かされるのは私一人ではあるまい。神田の書店街の活気は日本人の書物好きと勤勉さを示すとある外人が語っていた。神保町近くの理工学の洋書、または和書の古本・新本を並べた書店、美術書を並べた書店のショーウィンドー、フランスとドイツの文学、美術、社会学、経済、法律の主に古本を大きく取扱っている専門の田村書店、また九段下近くには日本のもろもろの学会の学会誌、論文集および国立研究所と会社などの専門雑誌のバックナンバー専門の長門屋書店などがあり一寸外国ではみられない風景である。一方、藤山図書館には古くから外国のもろもろの雑誌が整備されている。これらを利用すれば大学附属図書館にない書物、雑誌も容易に見られる。その他、新旧の他大学の附属図書館を利用する方法もある。

最後に当大学附属図書館について一二の課題を提供しておきたい。図書館通信にも紹介されているように本学の附属図書館は立派な建物と設備を有し、書物・雑誌などの質と量もかなり整備され、かつ利用者にすぐれた環境の中で学ぶことのできるよう配慮がなされており、多数の教職員、学生が盛んに利用していることは喜ばしいことである。しかしこれだけで満足してはならないと思う。大学附属図書館については先ず研究図書館として充実さるべきであり、すぐれたコレクションが必要とされる。しかし、一面では学習図書館の機能も十分に具備していかなければならぬ。次に、著者は最近アメリカのボストン市にある世界で最も有名なマサチューセッツ工業大学—MIT(The Massachusetts Institute of Technology)の中央図書館と切削学の大家のーク教授(Prof. Sc. Dr. Nathan Henry Cook)と副館長のケ  
(6ページへつづく)



# 図書館の相互協力

## 一 他の図書館の利用について 一

### 参考調査係

「入学して初めて大学図書館に入った時、今まで利用していた市立図書館や学校図書館に比べ蔵書冊数が多いのおどろいた。これだけあれば私共の必要とする図書は網羅されているだろうと喜んだ。しかし、授業がすすむにつれ図書がだんだん少なく感じるようになった。」とある学生が語った。

出版年鑑によるとわが国だけでも昭和49年に出版された点数は約2万8千点です。これは一般の販売による図書でこれに官庁・各種団体・個人による私費出版等が含まれますとこの数倍になりましょう。しかるに本館が受け入れる和書は49年で10,696冊です。当然に海外の出版物の受入は和書に比べるとはるかに少なくなります。出版物はすべて利用の対象により得るものです。

(勿論本学により必要な図書のみ受け入れるわけです。)これら出版物を一館で収集することは到底不可能です。しかし必要が生じたら利用に供するのが図書館の仕事です。そこで図書館の相互協力が必要です。相互協力には相互に現物の貸借、複写サービス、閲覧に出向く等があります。そして今日収集の分担についてよく議論されます。これは、それぞれの図書館の個性を生かし収集保存を分担しあうことですが、実現にはまだまだ問題が多いようです。

図書館の相互協力に不可決なものは蔵書目録です。次に本館の参考室にある目録を紹介します。

相互協力で最も利用が多いのは雑誌記事論文の複写サービスを受けることです。雑誌はその刊行形態から比較的収集・整理しやすく目録も整備されています。

学術雑誌総合目録、(文部省大学学術局図書館情報課監修)は国立国会図書館および国内の大学、研究機関の図書館で所蔵する雑誌の総合目録です。自然科学、人文科学編があり、それぞれ和文、欧文編があり4分冊になっています。(但し、自然科学欧文編1975年版は国立国会図書館は含まれていません。)雑誌が必要になったら最初に開くものです。

国立国会図書館和雑誌目録や各図書館で独自の所蔵雑誌目録を作成しているところもあります。また大学図書館の中には、雑誌予約目録がある所

もあります。現在購入中の雑誌を知るのに便利です。地方の出版物はその地の公共図書館がよく所蔵していますがまた総合目録がなく作成が待たれます。

外国のものでは次の2点があります。

British Union Catalogue of Periodicals. 4 vols.

イギリス国内の440館で所蔵する雑誌約14,000点を収録する。

New Serial Titles. 1950-1970. 4 vols.

アメリカ・カナダの800館以上の図書館で所蔵する1950年以降に出版された雑誌約26万点を収録する。1950年以前のはNational Union Catalogで所蔵が確かめられます。比較的利用度の高いドイツ・フランスの目録が本館にはなく、残念に思います。

一般図書は便利な総合目録は少なく、各図書館ごとの目録が中心になります。

新収洋書総合目録(国立国会図書館編)国立国会図書館・同支部図書館および東京大学等49館が収書した洋書の年間総合目録です。

図書総目録全8巻(岩波書店)国初から慶応3年までに日本人の著編選択した書籍で写本、版本の所蔵箇所が記されている。又、明治以後の活字本の有無も記されている。

現代中国関係中国語文献総合目録 全8巻補巻2冊(アジア経済研究所) 国立国会図書館等国内22機関で所蔵する1912年以降に刊行され、中国語で書かれた単行本を収録してある。

国内の総合目録は以上のほかは主題別のものが数種類ある程度です。各地の図書館協会がその地の郷土資料総合目録を作成した所もあります。静岡県図書館協会も昭和52年完成の予定でたまたま進行中です。

一館の目録は多数刊行されています。そのいくつかをあげてみましょう。

帝国図書館和漢書書名目録 第1-7編  
明治26(1893)-昭和24(1949)3月迄収録。

帝国図書館・国立国会図書館和漢書分類目録  
昭和24年(1949)3月迄収録。

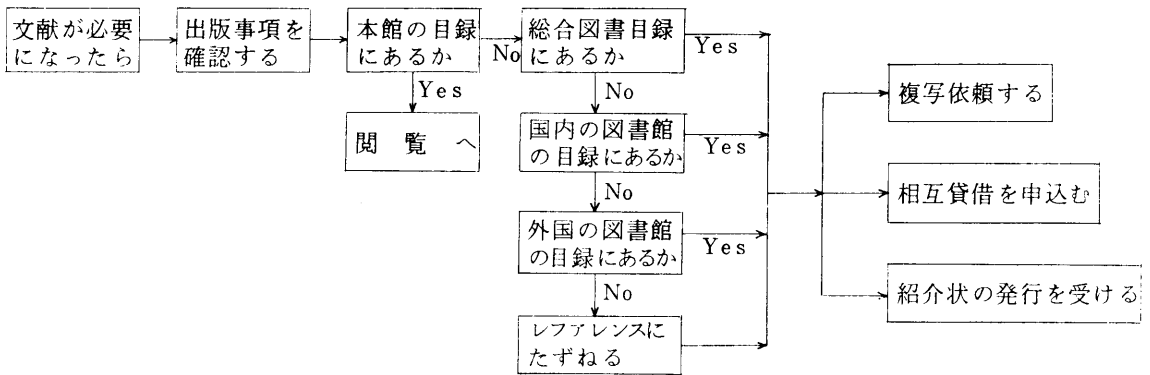
国立国会図書館蔵書目録 第1-4編  
昭和23(1948)-昭和33(1958)和漢書を収録。

国立国会図書館蔵書目録 第1-4編  
昭和34(1959)-昭和36(1961)の和漢書を収録。

国立国会図書館所蔵明治期刊行図書目録全6巻  
東京都立中央図書館蔵書目録  
大阪府立図書館蔵書目録

外国図書館の蔵書を知るには次の目録があります。  
 National Union Catalog pre 1956 Imprints.  
 National Union Catalog 1956 through 1967.  
 アメリカ・カナダの700館の総合目録  
 British Museum General Catalogue of Printed Books. 大英博物館の蔵書目録 1970年までカバーする。  
 London Bibliography of Social Sciences.  
 現在はBritish Library of Political and Economic Science の蔵書目録、1968年までカバーする。

Catalogue General des Livres Imprimés. 1897-1960. フランス国立図書館の目録。  
 これらの目録についてわからない人はレファレンスに相談してください。又、目録を刊行していない図書館にも所蔵の照会をします。  
 こうして必要な図書の本所在がわかりましたら、複写依頼・相互貸借や紹介状の発行を受けて閲覧に出向くことにより他の図書館の利用ができます。ただ単に一図書館の蔵書の利用のみでなくその図書館を通して多くの図書館を利用できるよう現在システム化が進められています。



■最近の受贈参考図書より

- ☆東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録 書人名人名索引 昭和50  
 昭和48年に刊行した東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録の書人名人名索引 同所が所蔵する漢籍を収録してあります。
- ☆東北大学所蔵和漢書古典分類目録 漢籍 子部・集部・叢書部・附録 昭和50  
 東北大学が所蔵する漢籍のうち子・集・叢書部および朝鮮本を収録、経部は昭和49年に刊行済みです。
- ☆名古屋市蓬左文庫漢籍分類目録 昭和50  
 名古屋市蓬左文庫が所蔵する漢籍・準漢籍および朝鮮本の分類目録です。
- ☆広池博士記念文庫漢籍分類目録 財団法人モロジー研究所 昭和50  
 広池千九郎が蒐集した蔵書を収めた広池博士記念文庫が所蔵する漢籍 1,262部 13,000冊余の分類目録です。
- ☆太政類典目録 上 自慶応3年—至明治4年 国立公文書館 昭和49  
 「太政類典」(国立公文書館所蔵)の検索の便を図るために作成したものである。太政類典は「太政官日記及日誌諸公文ヨリ典例条規ヲ採リ部門ヲ分ツテ類纂」(明治6年「編纂処務順序」)されたものです。
- ☆東京銀行協会創立90周年記念 機関誌記事索引

- 第2巻 昭和・戦前編 昭和50  
 東京銀行協会の機関誌のうち「銀行通信録」第492～677号「全国金融統制会報」全号の記事索引です。同第1巻 明治・大正編は昭和48年に刊行済みです。
- ☆北海道大学附属図書館所蔵 旧外地関係資料目録 — 朝鮮・台湾・満州(東北) — (明治—昭和20年) 昭和50  
 北海道大学附属図書館が所蔵する朝鮮・台湾・満州・南洋群島(旧委任統治)関係の資料を収録してある。
- ☆明治以降農業教科書総目録 島田喜知治著 岩手大学農学部附属農場研究室 昭和50  
 明治以降に出版された往来物および学校教育用の農業関係教科書が収録してある。
- ☆原田織維文庫目録 早稲田大学図書館 昭和50  
 原田忠雄氏が大日本紡績株式会社に在職中、職務上の参考資料として収集された戦前の内外の紡績関係文献を収録、現在早稲田大学図書館が所蔵している。
- ☆事業団資料室蔵書目録 昭和49年現在 海外技術協力事業団 昭和49  
 昭和49年4月末までに整備された蔵書を収録してある。一般図書資料と事業団刊行資料に分類されている。

